

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2 年 2 月 2 0 日 更新

事務事業名		更生保護女性会活動支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	4 生活環境の健康				所属部	総務部	課長名	木永 和博
	施 策	17 防犯対策の推進				所属課	交通防災課	担当者名	山下 美咲
	施策の柱	53 防犯意識の高揚と地域防犯対策				所属班	交通防災班	(内線)	1244
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 4	事業連番 10031	根拠法令	合志市更生保護女性会事業補助金交付要綱	
終了、開始年度		☐ 30年度で終了 ☐ 30年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 21 年度) ☐ 期間限定複数年度		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・ 罪を犯した者又は非行を犯した青少年の更生、犯罪予防め啓発等、支援を行う更生保護女性会への活動支援事業である。 ・ 人口の増加と比例していく青少年の犯罪の増加を防止することを目的に開始された。
【業務の流れ】	・ 補助金の申請受付、審査、決定、支出。研修への引率。
【主な予算費目】	・ 負担金補助及び交付金
【意見や要望】	・ 特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)		31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
・ 本組織への補助金の交付と研修会の参加を行い、活動を支援した。		・ 補助金の交付。 ・ 研修会への参加。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ ア 事業に参加したのべ人数	人		
⇒ イ			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・ 更生保護女性会	人	⇒ ア 会員数	
		⇒ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
・ 主催事業が活発に行なえるようになる	回	⇒ ア 主催事業実施回数	
		⇒ イ	
* ③ 成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
・ 「主催事業に活発に行なえるようになる」ことを、事業実施回数で判断することとした。			全体計画
			～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込
① 活動指標	ア 人		380	380	750	380	750	750	750	750
	イ									
② 対象指標	ア 人		0	0	105	84	90	90	90	90
	イ									
③ 成果指標	ア 回		40	40	40	40	40	40	40	40
	イ									
投 入 費 用	財 源	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	入 費	一般財源	千円	81	81	81	81	81	81	81
		(A) 事業費計	千円	81	81	81	81	81	81	81
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	1	3	2	2	0	0	0
量	人 件 費	延べ業務時間	時間	100	230	50	120	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	909	199	473	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	81	990	280	554	81	81	81

事務事業名	更生保護女性会活動支援事業	所属部	総務部	所属課	交通防災課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は30年度的事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 県や菊阿ブロック単位での事業が多かったため、主催事業数が増えなかった。
	②31年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 市と同会との連携により活発な活動を実施できると考えられるため
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 現在、同会の活動は円滑に行なわれており、これを維持することにより今後より多くの事業の実施も可能になると考えられるため
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 更生保護女性会への支援事業は、本事業のみである。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 「合志市更生保護女性会事業補助金交付要綱」に基づき、対象経費へ補助金を交付しているため、削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 主に補助金支払い、研修会等の事務であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 市民を特定することなく事業を展開しているため公平である
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 同会は青少年の犯罪防止を目的とした活動を行っており、地域の安全安心なまちづくりに寄与するものと考えられるため、行政で支援を行なうのは適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

現在、円滑な事業の運営がなされており、今後もこの連携を維持しなければならない。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐廃止

☐休止

☐目的再設定

☐事業統廃合・連携

☐事業のやり方改善（有効性改善）

☐事業のやり方改善（効率性改善）

☐事業のやり方改善（公平性改善）

☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策